

&lt;第64回調査&gt;

2014年09月29日

**【本調査の目的】**

2009年6月の第1回調査を皮切りに、(株)外為どっとコムは口座開設者のお客様を対象として、「投資動向等に関するアンケート調査」を毎月定期的を実施していましたが、2010年8月の第15回調査より、その名称を「外為短期投資動向調査(略称:外為短観)」に改めました。本レポートは、同調査の結果に基づき、(株)外為どっとコム総合研究所がその一部を取りまとめるという形で対外的に公表するものです。

近年の外国為替市場において、本邦の外国為替保証金取引への関心が強まっているのは周知の通りですが、その実像を把握するのに必要な統計データ等の整備は、既存のマクロ経済データや金融関連データなどに比べて遅れているのが実情です。今後こうした調査を継続的に実施することで、時系列で比較した個人投資家層の相場感の変化や投資家属性別の投資動向の特徴などを精査し、当社の調査研究活動の深化につなげるとともに、その一部を社会に還元することが、本調査の目的です。

また、本調査におきましては、国内外の市場参加者が注目する各種イベント前後の時期に、不定期のアンケート調査の結果も公表いたします。定点観測の調査結果と合わせて、ご参考にして頂ければ幸いです。

**【調査実施期間】**

2014年09月16日(火)13:00~2014年09月23日(火)13:00

※毎月中旬から下旬にかけての1週間を調査期間としています。

**【調査対象】**

(株)外為どっとコムの『外貨ネクストネオ』に口座を開設のお客様層

**【調査方法】**

(株)外為どっとコムの口座開設者にメールでアンケート回答URLを送付。

今回の有効回答数は769件。

※必要項目を全て入力して回答して頂いたお客様を「有効回答数」としました。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

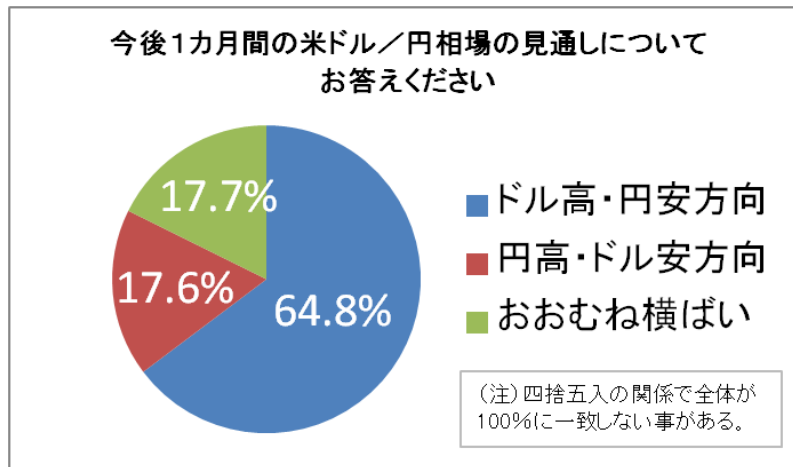
Copyright©2014 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

## 【第64回調査結果略報：ドル/円強気見通しが大幅に拡大】

### 問1：今後1カ月間の米ドル/円相場の見通しについてお答えください

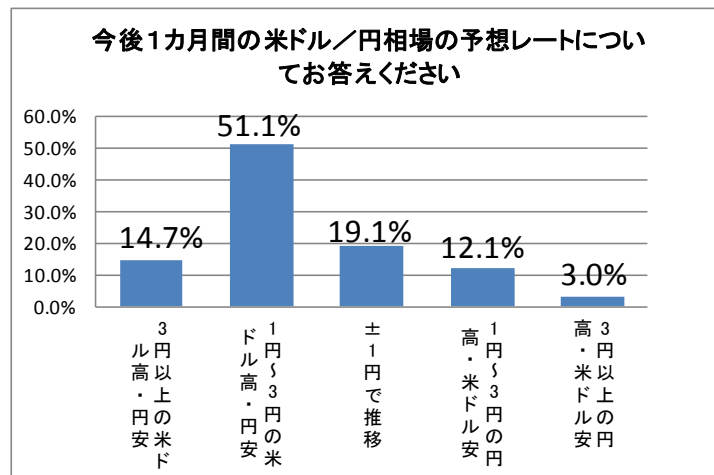
「今後1カ月間の米ドル/円相場の見通し」については、「ドル高・円安方向」と答えた割合が64.8%であったのに対し、「円高・ドル安方向」と答えた割合は17.6%となった。この結果「米ドル/円予想DI」は+47.2%ポイントと、2013年5月以来の高水準で15カ月連続のプラス圏を維持した。調査期間中の米ドル/円相場は、107.00円前後から19日にかけて109.460円まで上昇するなど、大幅高となった。米国の早期利上げ観測と日本の追加緩和の可能性が根強く意識される中でドル/円は先高観が急激に強くなり、DIも大幅に伸びたものと見られる。

※過去の米ドル/円予想DIの推移はP8-9に掲載。



### 問2：今後1カ月間の米ドル/円相場の予想レートについてお答えください

「今後1カ月間の米ドル/円相場の予想レート」については、「1円～3円の米ドル高・円安」と答えた割合が51.1%と最も多く、「±1円で推移」が19.1%と続いた。さらに、「3円以上の米ドル高・円安」は14.7%、「1円～3円の円高・ドル安」は12.1%、「3円以上の円高・米ドル安」は3.0%となった。ヒストグラムの形状は、先月の「±1円で推移」を中心とした型から「1円～3円の米ドル高・円安」方向へ傾いた。「3円以上の米ドル高・円安」と併せると、米ドル高・円安方向で見ている層が65.8%に上るなどかなり多く、問1と整合的であると言える。

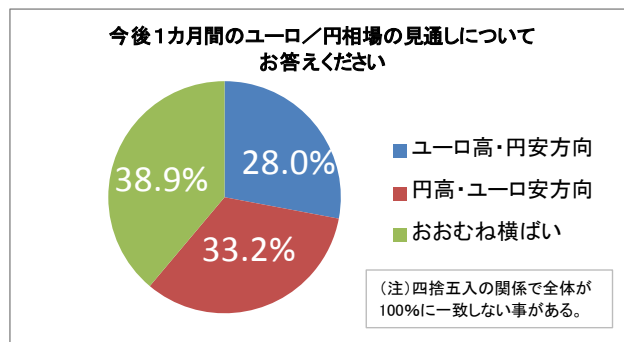


本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2014 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

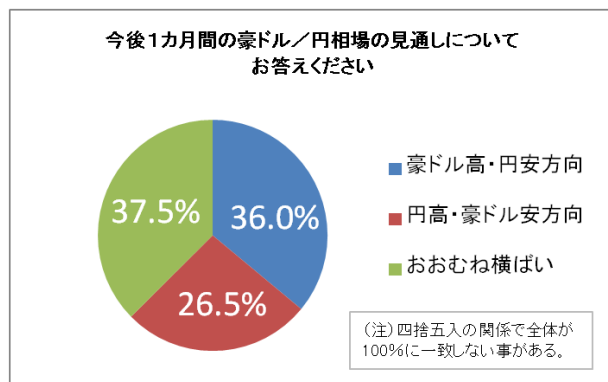
### 問3: 今後1カ月間のユーロ/円相場の見通しについてお答えください

「今後1カ月間のユーロ/円相場の見通し」については、「ユーロ高・円安方向」と答えた割合が28.0%であったのに対し、「円高・ユーロ安方向」と答えた割合が33.2%となった。この結果、「ユーロ円予想DI」は▲5.2%ポイントとなった。前月の▲33.2%ポイントからマイナス幅は大幅に縮小したものの、6カ月連続の弱気予想となった。調査期間中のユーロ/円相場は、ドル/円の上昇に連れる形で138.50円台から19日にかけて141.20円台まで上伸した。ここまで大幅に上昇しながらも、FX投資家がユーロ高・円安見通しに傾ききれないのは、ユーロ主導の相場でないためと考えられる。足元の相場はドル主導となる場面が多く、FX投資家の見方も「ユーロ/円はドル/円とユーロ/ドルに相殺されて横ばい」との見方が大勢のようだ。※過去のユーロ円予想DIの推移はP8-9に掲載。



### 問4: 今後1カ月間の豪ドル/円相場の見通しについてお答えください

「今後1カ月間の豪ドル/円相場見通し」については、「豪ドル高・円安方向」と答えた割合が36.0%であったのに対し、「円高・豪ドル安方向」と答えた割合は26.5%となった。この結果「豪ドル/円予想DI」は+9.5%ポイントとなった。ほぼ中立の予想となった前回から、やや強気方向に傾いた形だ。調査期間中の豪ドル/円相場は96円台から98円付近まで上昇したものの、上値は伸びず、軟化した。ドル/円が上昇をけん引したユーロ/円とは違い、ドル/円の上昇よりも豪ドル/米ドルの下落の影響が強く、豪ドル/円の伸びは大きなものにならなかった上、22日発表の中国指標の弱い結果や、シリア空撃を背景とするリスク回避の動きが下押し圧力となった模様。ただし、それでも強気予想がユーロ/円に比べて多いのは、FX投資家における豪ドル人気の高さゆえであろう。※過去の豪ドル円予想DIの推移はP8-9に掲載。

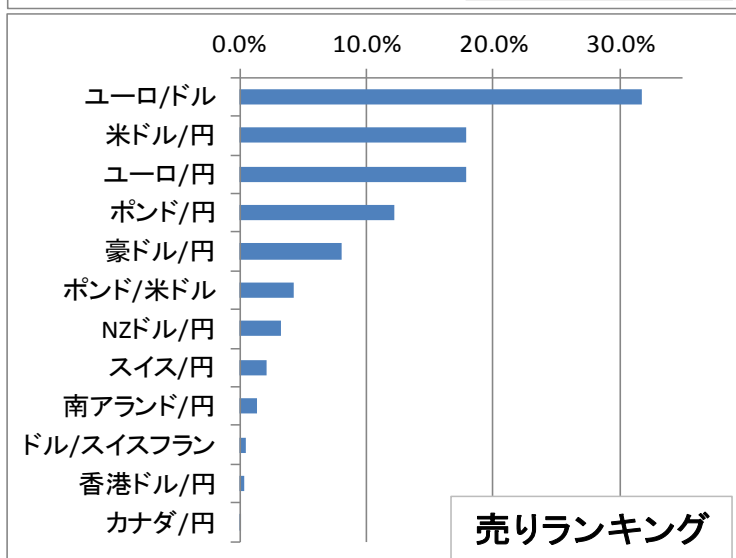
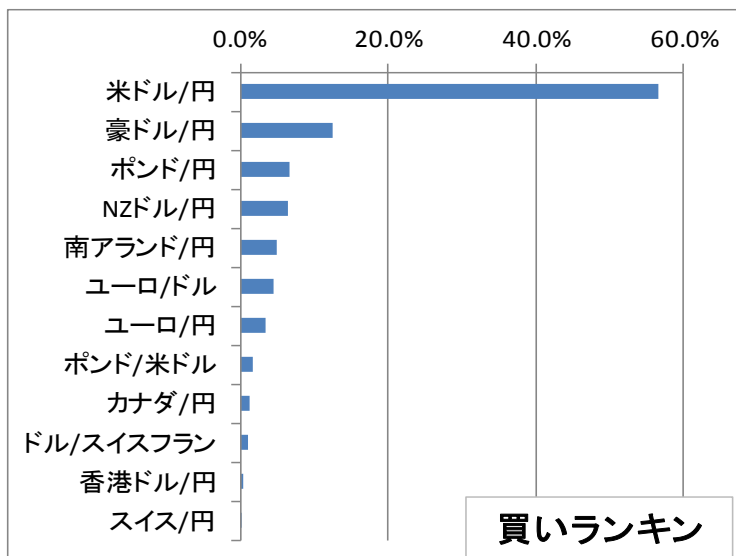


本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2014 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

問5: 今後、注目の通貨ペアについてお答えください

「今後注目している通貨ペア」について尋ねたところ、「買い」で注目されている通貨ペアは、1位米ドル/円(56.6%)、2位豪ドル/円(12.6%)、3位ポンド/円(6.6%)、4位NZドル/円(6.5%)、となった。一方、「売り」で注目されている通貨ペアは、1位ユーロ/ドル(31.7%)、2位が米ドル/円(17.9%)とユーロ/円(17.9%)が並び、4位がポンド/円(12.2%)となった。「買い」で注目の通貨ペアについては、米ドル/円が23カ月連続で1位をキープ。調査期間中に大幅に上昇したこともあり、投票割合を大幅に拡大(前回:37.0%)させた。2位は前回と同様に豪ドル/円だったが、3位については、前回3位だったNZドル/円が投票割合を大幅に下げ(前回11.6%)、前回5位だったポンド/円が浮上した。一方、「売り」で注目の通貨ペアについては、ユーロ/ドルが他を引き離しての勝利となった。「追加緩和睨みの欧州、早期利上げ観測の米国」というギャップの中で、ユーロ/ドル下落のトレンドはかなり分かりやすく、人気を集めたものとみる。

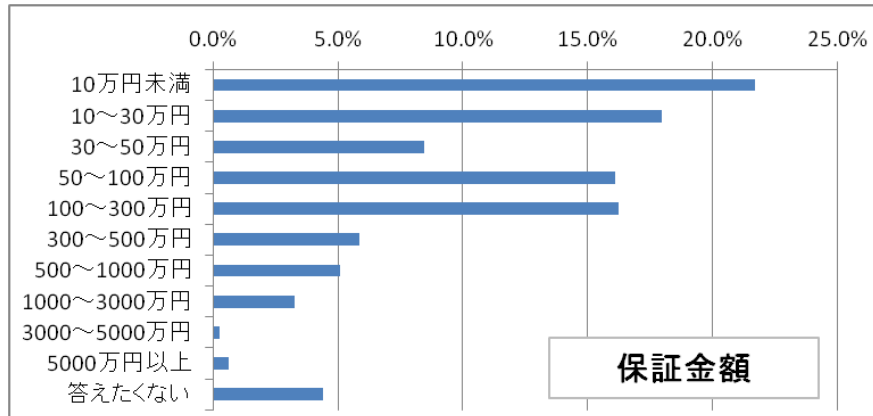


本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2014 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

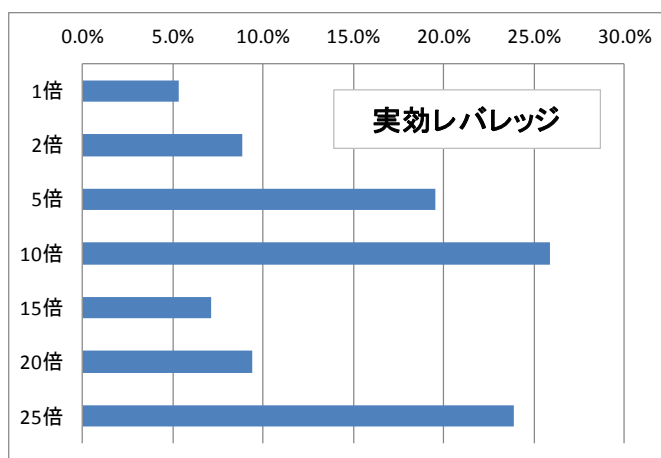
### 問6: FX取引の際の取引保証金の額についてお答えください(ひとつだけ)

「FX取引の際の保証金の額」について尋ねたところ、「10万円未満」と答えた割合が21.7%と最も多く、以下「10～30万円(17.9%)」、「100～300万円(16.3%)」、「50～100万円(16.1%)」、「30～50万円(8.5%)」と続いた。「100～300万円」とした割合が前回の17.9%から低下したものの、「300万円以上」とした合算割合は前回の13.3%から15.3%へ増加しているが、全体としては大きく変化したとの印象は薄い。



### 問7: 現在の[実効レバレッジ]で最も近いものを選択ください(ひとつだけ)

「現在の[実効レバレッジ]」について尋ねたところ、「10倍」と答えた割合が25.9%と最も多く、「25倍」が23.9%、「5倍」が19.5%と続き、以下、「20倍」が9.4%、「2倍」が8.8%となった。「2倍」の回答割合が低下(前回10.3%)し、「20倍」の回答割合が上昇(前回7.2%)した結果、順位が入れ替わったものの、誤差の範囲と見る。「10倍」と「25倍」で半数以上を占める傾向に引き続き変わりはない。なお、今回の調査に回答を寄せた個人投資家の平均実効レバレッジについては、12.7倍と前回から横ばいであった。

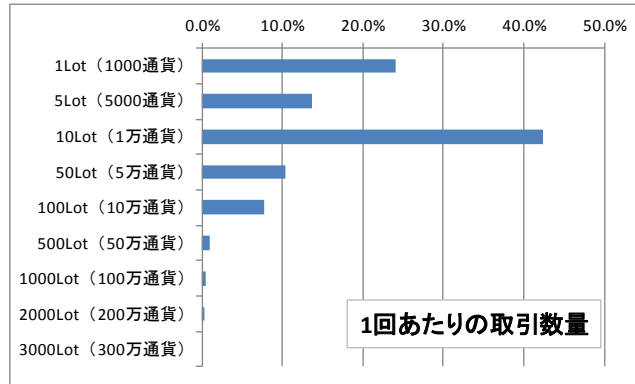


本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2014Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

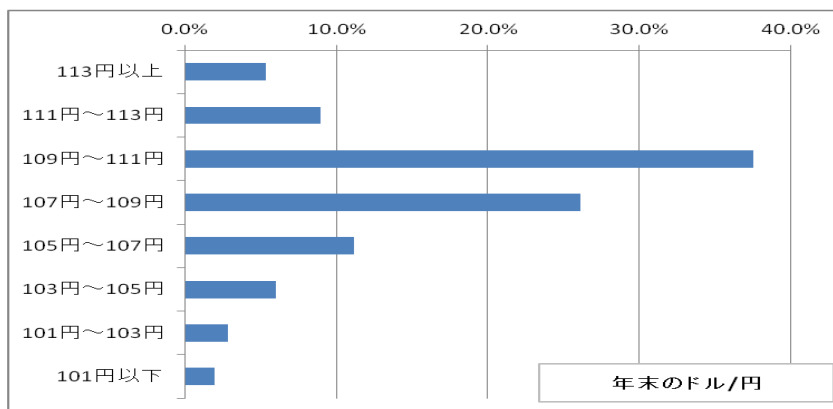
**問8: 一度に注文する注文数量で最も近いものを選択ください。(ひとつだけ)**

「一度に注文する注文数量で最も近いものを選択ください。(ひとつだけ)」と尋ねたところ、「10Lot (1万通貨)」と答えた割合が41.0%と最も多く、以下「1Lot(1000通貨)」が25.6%、「5Lot(5000通貨)」が13.3%、「50Lot(5万通貨)」が9.0%、「100Lot(10万通貨)」が8.3%と続いた。順位は前回と同様であり、回答割合にもほぼ変化がなかった。保証金、レバレッジに続いて注文数量にも目立った変化がないという事になる。本邦個人投資家の取引スタイルがほぼ固定化されたと見るべきなのか、相場の膠着が、取引スタイルも膠着化させたのかについては現段階では判然としない。今後の動向に注目しておきたい。



**問9: 2014年12月31日ニューヨーククローズ時点のドル/円の予想レートをお答えください(ひとつだけ)また、その理由をご記載ください。**

今月の特別質問項目として「2014年12月31日ニューヨーククローズ時点のドル/円の予想レートをお答えください(ひとつだけ)」と尋ねたところ、「109円～111円」が37.6%を占めて最多となった。以下、「107円～109円」が26.1%、「105円～107円」が11.2%、「111円～113円」が9.0%と続いた。調査期間の終値平均(108.787円)よりも円安の水準を見ている向きが過半数を超えている。ただし、111円を超える円安を見ている層は多くない。あくまで中心は「107円～109円」と「109円～111円」で、この層で全体の63.7%に達する。コメント欄を見ると、「110円」の壁をかなり高いものと見ているFX投資家が多く、「110円は超えられない」「超えても上昇の勢いはそれ以上続かない」「長い目で見れば超えるが、その前に調整局面を迎える」、などとする意見が目立った。



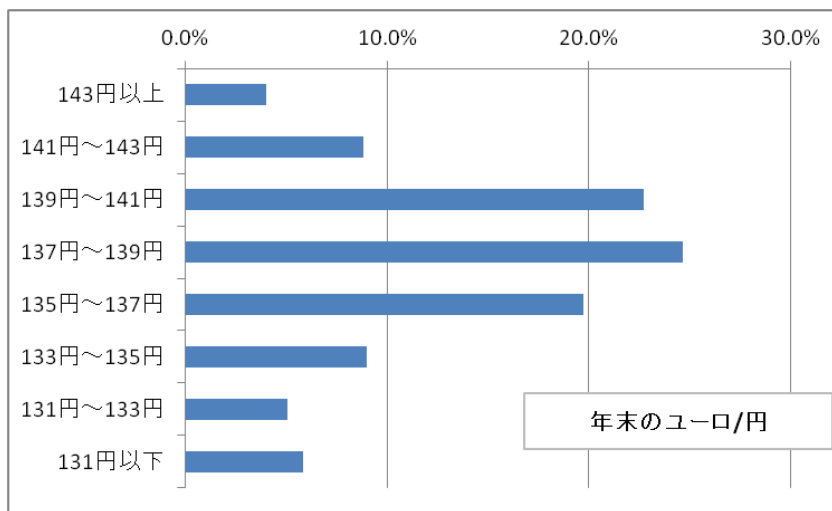
本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2014Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com



問10: 2014年12月31日ニューヨーククローズ時点のユーロ/円の予想レートをお答えください(ひとつだけ) また、その理由をご記載ください。

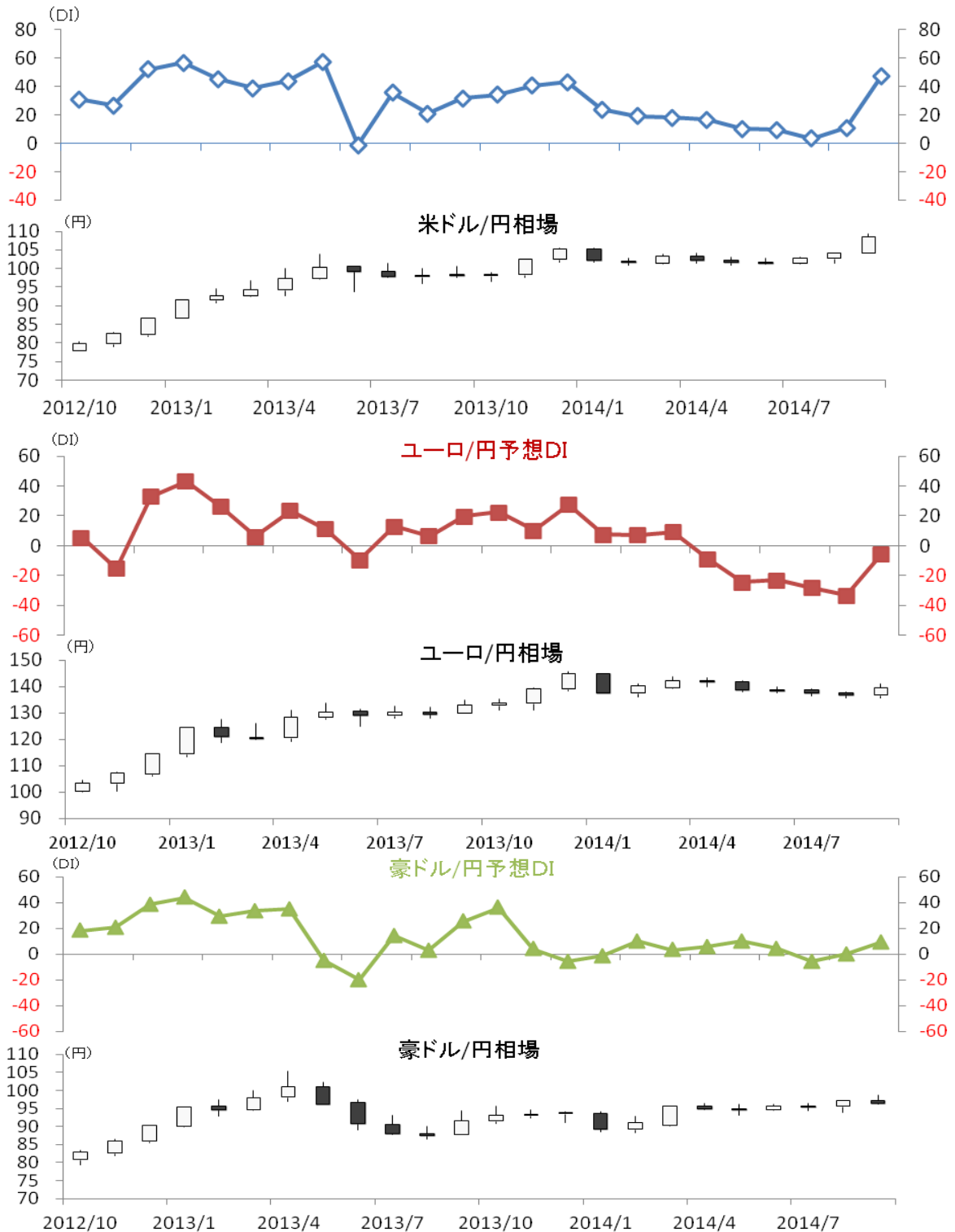
今月のもうひとつの特別質問項目は、問9と関連して「2014年12月31日ニューヨーククローズ時点のユーロ/円の予想レートをお答えください(ひとつだけ)」と尋ねた。その結果、「137円～139円」が24.7%と最も多く、「139円～141円」が22.8%、「135円～137円」が19.8%、「133円～135円」が9.0%、「141円～143円」が8.8%と続いた。調査期間中の終値平均(139.710円)よりも、全体として小幅にユーロ安・円高気味の予想となった。弱気予想の理由としては、欧州の景気不透明感や債務問題、欧州中銀の追加緩和観測、ロシアとの関係不安、地政学的リスクなどを挙げる向きが目立った。ただし、日本の貿易赤字や追加緩和の可能性などを理由に、「円高が進むと見る向き」は少なく、ユーロ/円は下げても大幅なものにならない、と考えるFX投資家が大勢のようだ。



本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2014 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

【付表:主要3通貨ペア予想DIと月足の推移】



本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2014 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com



## 【今後の調査実施計画及び公表方針】

本調査も第64回目となりました。調査開始から5年以上が経過し、データの蓄積が進んできました。今後については、毎月定点観測で実施する調査結果を基に、予想DIの時系列比較から見出せるFX投資家の相場観の変化やその傾向などのほか、中長期的な視点に基づいたFX投資家の投資スタイルの変化などの考察も進めて行きたいと考えています。

なお、毎月の本調査においては、公表扱いとしている質問項目及び回答結果の他に、「投資家の属性」、「取引頻度」、「取引規模」、「取引時間帯」、「投資選好」など、投資家実態を把握するために必要な各種の質問項目も設けて集計しています。それらの回答結果を用いた投資家の実態報告や属性別のクロス・セクション分析等については、当研究所が1年に1回、毎年年初以降に公表する「外為白書」で紹介する予定です。

## 【付表：主要3通貨ペア予想DIの推移】

		米ドル/円			ユーロ/円			豪ドル/円		
		米ドル高	米ドル安	DI	ユーロ高	ユーロ安	DI	豪ドル高	豪ドル安	DI
2012年	10月	44.9	14.0	30.9	39.1	33.5	5.6	42.4	24.1	18.3
	11月	48.5	21.5	27.0	27.9	43.1	-15.2	44.0	23.3	20.7
	12月	69.2	17.1	52.1	56.2	23.2	33.0	56.2	17.7	38.5
	1月	70.7	13.6	57.1	61.4	18.3	43.1	60.3	16.4	43.9
2013年	2月	60.0	14.7	45.3	50.1	23.9	26.2	48.6	19.4	29.2
	3月	55.5	16.6	38.9	37.2	30.9	6.3	53.0	19.6	33.4
	4月	61.4	17.4	44.0	49.5	25.8	23.7	56.1	21.2	34.9
	5月	70.5	12.7	57.8	37.3	25.9	11.4	27.7	32.7	-5.0
	6月	37.5	38.8	-1.3	31.4	40.8	-9.4	28.2	48.3	-20.1
	7月	52.3	16.6	35.7	37.3	24.3	13.0	38.4	24.2	14.2
	8月	43.7	22.7	21.0	34.1	27.5	6.6	34.8	31.8	3.0
	9月	49.8	18.1	31.7	40.8	21.0	19.8	46.5	21.2	25.3
	10月	54.8	20.6	34.2	40.8	18.4	22.4	53.1	17.1	36.0
	11月	53.2	12.5	40.7	34.8	24.7	10.1	31.8	27.8	4.0
	12月	59.5	16.1	43.4	48.2	20.7	27.5	27.3	32.8	-5.5
	1月	47.2	23.1	24.1	37.2	29.7	7.5	28.1	29.4	-1.3
2014年	2月	41.7	22.5	19.2	35.3	28.2	7.1	36.5	26.3	10.2
	3月	41.9	24.0	17.9	38.7	29.5	9.2	34.8	31.5	3.3
	4月	41.4	24.6	16.8	25.7	34.5	-8.8	35.4	29.5	5.9
	5月	33.9	23.5	10.4	19.7	44.0	-24.3	34.2	24.0	10.2
	6月	31.1	21.7	9.4	20.1	43.1	-23.0	30.4	26.0	4.4
	7月	27.9	24.4	3.5	17.8	45.8	-28.0	26.7	32.3	-5.6
	8月	32.6	21.8	10.8	14.7	47.9	-33.2	27.8	27.7	0.1
	9月	64.8	17.6	47.2	28.0	33.2	-5.2	36.0	26.5	9.5

(出所) 外為どっとコム総合研究所

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2014 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com